

かつたが、同時に之を否定する事も出来なかつた。然るに第二回調査即ち多産者の同胞の出産力調査に於て多産の夫の男女同胞、多産の妻の男女同胞何れに於ても相當多産の傾向の存する事を認めた。勿論對照として本調査の資料と同一の環境に於ける一般人の出産力調査が存在しないので決定的の斷定は與へられず、問題の最後の解決は將來に残されてゐる。

多産素質の遺傳の問題に關聯して一般に生殖能力の遺傳に就いても考察を行ふべきであるが、之に就いては稿を改めて記述する豫定である。

稿を終るに臨み、第一回及第二回調査を通じて非常な御援助を賜りし神奈川県警察部職員諸氏就中衛生課及各警察署衛生係の諸氏、特に衛生課長北條光丸氏、衛生主事雅井貞義氏、前衛生主事伊藤健氏に厚く感謝の意を表す。

引用文献

- (1) 横田 人口問題研究 二卷二號 四三頁
- (2) 古屋 醫學統計法の理論と其應用 一三五頁
- (3) 古屋 民族生物學研究 第一輯 一五頁
- (4) 矢ヶ崎 民族生物學研究 第一輯 三六頁
- (5) 同 同 一二七頁

正誤

第二卷第十二號「出生率の地域的差異に關する一考察」一六頁(八)妊娠障礙頻度に關する記述中「惡阻」は「つはり及惡阻」に「輕症惡阻」は「つはり及輕症惡阻」に「重症惡阻」は「惡阻」に訂正す。一二頁下段一行「重症惡阻」は「惡阻」と訂正す。

上州沼田藩人口政策史料

達書

(埋め草)

朝廷御維新の折柄に當り、我等不肖藩任の重きを辱なりし、日夜恐懼にたへざる處、幸に管轄する處盡く舊來の封土にして、何れも累世の恩義を相荷なふ。是我等數々思ふ所なり何れも朝廷御布告の儀を奉體し、上下相話して力を職業に盡し、厚聖主の御仁慈を仰戴すべし。随つて小兒養育の儀は、吾先代獻良院殿初而就行してより以來相繼ぐ所の舊政にして、今猶厚を加ふべき處なれば、重て其教令を示さしむ。何れも厚く相心得合、先代の遺教に基き、永く此地の美俗をなし、戸口繁衍の道を弘むべきもの也。

小兒養育冥加金上納帳

それつらく思ふに、有情の六道四生に輪廻して人界に生をうるもの、寔に龜の浮木の縁逢ふが如し。然るに此邊のあしき風俗にて、無慚放逸成ものは出生の子を産所に於て押殺し、或は墮胎の法をなして失ふもの多し。たましく人體を受けて生れぬるを、情なくも失ふ事鳥類にも劣れるべし、嗚呼鳥獸すらそれ／＼に子を育ふ道を知る。況や萬物の精靈たる人間として此心なきは人面獸心歎鋪ならずや。然るに退て其根元を按ずるに、偏に貧きより成るものとす。

是において有位の同志と俱に、小兒養育の資財を調へ、疾癘に納置、其利倍を以て赤子養育の輩へ申下し、この風俗を變せん事を願ふ。各仁慈の志を發し、僧に俗財を投て此供業を成就せば、歳々早く死を遁れ生を得るもの幾人ぞや。

一人死を救ふ事すら功德廣大、況や永年生を完うするもの計難し。然則喜捨の資財は少しにして、生れる所の功德萬劫にして廣からん。

文化十一年甲戌年春季春吉旦

(社會連帶より)